

地域産材を使うセルフビルドでもできる提案
学生コンテスト 2017

募集テーマ

「建築」架構

入選作品は地域産針葉樹を用い
実際に制作できます！

■応募登録締切

平成 30 年 2 月 6 日（火）

■応募資格

東海地方で建築学を学ぶ
大学生・大学院生を主体としたグループ

■事前説明会

平成 30 年 2 月 9 日（金）午後 4 時から

■選考資料提出締切

平成 30 年 3 月 23 日（金）必着

■現地組立

平成 30 年 5 月 12 日（土）

■運営事務局

あいちの木で家をつくる会事務局

Fax: 052-433-1508

Email: aichinoki.jp@gmail.com

郵送先：〒450-0001

愛知県名古屋市中村区那古野 1-44-17 嶋田ビル 203

江戸時代には、木曾や飛騨の山で切り出された木材は木曾川や飛騨川を流送され、名古屋（熱田）までおよそ 300 日をかけて運ばれ、同地区は木材市場発祥の地と呼ばれてきました。

我が国では古くから様々な流域圏で、山で切出されてきた木材が河川を利用して下流へと流送され、川下の街をつくるために使われてきました。その意味では木材は山と街を繋ぐ重要なアイテムであったと言えます。

そこで本コンテストでは、一昨年度の地域産広葉樹を使ったストリートファニチャー提案、昨年度の地域産針葉樹材を利用したセルフビルド可能なモバイルシェッドの提案に引き続き、今回は一日でセルフビルドできる「繋ぐ架構」の提案を募集します。

入選作品より選ばれた複数の提案に対しては、地域産針葉樹の厚板材が無償で供与され実際に提案作品を製作することができます。さらに作品は林野庁 中部森林管理局名古屋事務所にて一定期間設置され実用に供されます。

皆様の積極的な参加と新たな作品提案をお待ちします。

■審査員

古川忠稔（名古屋大学環境学研究科）

武藤 厚（名城大学理工学部）

石山央樹（中部大学工学部）

太幡英亮（名古屋大学工学研究科）

藤岡伸子（名古屋工業大学工学研究科）

清水秀丸（椋山女学園大学生生活科学部）

松田和浩（名城大学理工学部）

園原 薫（愛知県森林・林業センター）

■運営事務局

あいちの木で家をつくる会事務局

Fax: 052-433-1508

Email: aichinoki.jp@gmail.com

郵送先：〒450-0001

愛知県名古屋市中村区那古野 1-44-17 嶋田ビル 203

主 催：名古屋大学環境学研究科古川研究室、

あいちの木で家をつくる会 木造都市研究会木愛の会

協 力：名古屋大学工学部施設整備推進室

名古屋大学環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター

協 賛：ガムスター株式会社、(株)総合資格学院

後 援：林野庁中部森林管理局、愛知県

■募集要項

・応募登録締切

平成 30 年 2 月 6 日 17:00

応募団体（個人）名、担当者名をメールにて事務局に連絡

・事前説明会

平成 30 年 2 月 9 日午後 4 時より 名古屋大学 ES 総合館 5 階第 1

会議室（あるいは林野庁 中部森林管理局名古屋事務所）

説明内容：コンテストのスケジュールや内容の質疑、材料の現物確認、設置場所確認、懇親会（予定）

・選考資料

提案の平面図、立面図および必要な図面やパースをプレゼンシート（A3 用紙ヨコ 2 枚程度、パネル化しないこと）にまとめ、事務局（住所：愛知県名古屋市中村区那古野 1-44-17 嶋田ビル 203）に郵送。応募点数は自由。

・提出締切：平成 30 年 3 月 23 日 郵送にて事務局に必着
受取を確実にを行うため、郵送時に送付した旨、必ず事務局にメールすること。

選考結果公表：平成 30 年 4 月 3 日（主催者ホームページ及び当選者へのメール連絡）

・材料支給：平成 30 年 4 月 7 日

入選作品のうち製作が相応しいと選定された提案には材料が供与されます。材料は、名古屋大学 ES 総合館 1 階実験室前にて、各入選者が受け取り下さい。

■現地組み立て：5 月 12 日

■提案作品：セルフビルドできる「繋ぐ架構」

ここでいうセルフビルドできる「繋ぐ架構」とは、提案作品が何かと何かを繋ぐことを意図して提案されたものであればよい。繋ぐ対象が人でも物でも場所でも時間でも構わないが、設計のコンセプトに何を繋ぐかを明確に示すこと。

架構はセルフビルドで設置、移動または移設が可能な構造とすること。また、提案作品の実現可能性も評価の対象とする。

提案作品のサイズに制限はないが、設置時時の寸法は敷地の制約により 10m² 以内となる。

■供与予定の地域産針葉樹厚板材

地域産のスギ・ヒノキを製材した厚板材（厚さ 40mm×幅 90mm 両面プレーナー仕上げ）を一提案あたり

1.5m を 80 枚まで供与する。

■表彰

試作品及びその設計意図をまとめた書類により審査を行い、入選作品を選出し表彰する。

■作品製作について

作品製作は各グループが行うことを原則とするが、グループ外の協力を得てもよい。作品製作時は細心の注意を払い怪我の無いように注意すること。万一、事故や怪我等があった場合でも、主催者側は一切関知しません。

作品製作にあたり、供与材以外の木材や金物を使うことに制限はない。ただし、提案した架構の主要部は供与材となるようにすること。なお、屋根防水材としてはガムスター（アスファルト改質防水シートでそのまま屋根材として対応可能なもの）が利用可能である。製作した架構の塗装は各人の判断にて行うこと。現地組立時に現地で塗装することも可能。ただし、人体に有害な塗装処理等は行わないこと。なお製作後の残材は、自治体の指示に従って適切に処分すること。

■その他

応募作品の著作権は提案者に属しますが、公表および出版の権限は主催者が保有します。優秀作品は「あいちの木で家をつくる会」ホームページ（<http://www.aichinoki.jp>）にて公開いたします。作品製作については、提案者との相談の上で木造建築専門家の協力のもと再設計を行うことがあります。作品の設置期間は原則として 3 か月とし、期間内においても破損等の状況に応じて主催者が補修または撤去を行います。設置修了後に、状態が良い作品は他の設置位置への移転を検討します。